



姫路市キャラクター しろまるひめ



姫路と世界を繋ぐ、心躍る挑戦



Junior Chamber International Himeji
公益社団法人 姫路青年会議所

〒670-0932 兵庫県姫路市下寺町43番地(姫路商工会議所・新館4階)

TEL: 079-281-0887 FAX: 079-281-0864

<https://www.himejijc.or.jp>

70th Anniversary



JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International
We Believe;

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
and That service to humanity is the best work of life.

(和訳)

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である



JCI Mission

To provide leadership development opportunities
that empower young people to create positive change.

(和訳)

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすために
リーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JC宣言文

日本の青年会議所は希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

(和訳)

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

綱領

われわれJAYCEEは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と
情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう

姫路青年会議所設立趣意書

青年会議所(ジュニアチャンバー)は独創に炎える若き情熱と実行力をもつた青年
実業家並文化人の集団である。

青年会議所の起源は可成り古く1915年北米セントルイス市の一青年が始めたもので
ある。其後全世界の各都市にJCが結成され1947年ダラス市で第1回世界JC大会が開
かれた。我国に於ても1949年秋東京青年会議所が設立され其後全国の進歩的各都市
に20余の青年会議所が誕生し1951年2月には各地の联合体として東京に日本青年会
議所が創立された。本会々員は何処へ行っても尊敬と親愛を以て迎えられ、JC会員であ
ることは日本のみならず国際的に最も有効なパスポートである。

「尤も是だけの信用を得るには先輩青年達の絶えざる修練」と友愛の精神によつて世界
的に手をつなごうとする親交と献身的な社会奉仕の賜物である。

我々は敗戦という大きなショックの中に精神的支柱を失つたかに見えたが、常に進んで
やまざる青年達は夫々の分野に於て活動してきた。

此処に大なる力を発揮せんが為に同志相寄り姫路青年会議所を結成する事になった。
此の機会に広く姫路在住の有能なる実業家並に文化人に呼びかけ姫路青年会議所に
入会をおすすめる次第である。

公益社団法人 姫路青年会議所 創立70周年を迎えて

公益社団法人 姫路青年会議所

第70代 理事長

大塚 兼史

Otsuka Kenji



ご挨拶

We can. We rise. 笑顔溢れ、心躍る未来へ



姫路市キャラクター しるまるひめ

本年、公益社団法人姫路青年会議所は創立70周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、諸先輩方をはじめ、地域、関係諸団体の皆さまの長年にわたるご支援とご厚情の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

1956年の創立以来、私たちは「明るい豊かな社会の実現」を志しとして掲げ、時代ごとの地域課題に真摯に向き合いながら運動を展開してまいりました。その歩みは決して平坦ではなく、幾多の挑戦と変革の連続でありました。しかし、常に地域と共に歩み続けてきた歴史こそが、現在の礎であり、未来への原動力であります。

本年度、私たちは「We can. We rise. 笑顔溢れ、心躍る未来へ」をスローガンに掲げ、これまで紡がれてきた想いを未来へと繋ぎ、新たな価値の創出に挑戦してまいります。変化の激しい時代においても、自らの可能性を信じ、仲間と共に立ち上がり、地域に笑顔と活力を生み出し続ける存在であり続けます。

70年の歴史に感謝と敬意を捧げるとともに、その想いを胸に、次代に向けて確かな一歩を踏み出してまいります。今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

祝

辞



兵庫県知事

齋藤 元彦 様

Saito Motohiko

公益社団法人姫路青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。昭和32年の設立以来、志しを同じくする地域のリーダーが、姫路のまちの振興や次代を担う人財の育成に尽力してこられました。「お城まつり」をはじめとする青少年育成を目的とした独自の事業を継続的に展開されるなど、地域に根差した活動を積み重ねてこられたことに、深く敬意を表します。こうした70年にわたる歩みは、地域が時代の変化を乗り越える礎です。人口減少が進む中であっても、将来にわたり兵庫の魅力と活力を高め、持続可能な地域づくりを進めなければなりません。県では、若者一人ひとりが夢や志しをもって挑戦できる環境づくりを進めるとともに、フィールドパビリオンをはじめとする地域資源の磨き上げなどに取り組んでまいります。世界文化遺産・姫路城を擁し、豊かな自然や悠久の歴史、多様な文化・産業を併せもつ姫路の魅力が、公益社団法人姫路青年会議所の皆さまの行動力と発信力により、国内外に一層広がることを期待しています。大塚理事長の所信に掲げられた「笑顔溢れ、心躍る未来へ」のもと、未来に希望を抱ける地域づくりに向けて、全員が主役として挑戦されていることを心強く感じます。共に兵庫の未来を切り拓いていきましょう。公益社団法人姫路青年会議所のますますのご発展と、皆さまのご健勝、ご活躍を心からお祈りします。

公益社団法人姫路青年会議所が創立70周年という大きな節目を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。公益社団法人姫路青年会議所の皆さまにおかれましては、「明るい豊かな社会の実現」を志し、長きにわたり地域の発展と活性化にご尽力いただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。創立以来、市民と共に歩み、地域振興事業や青少年育成事業、国際交流事業、災害復興支援など、多彩な活動を展開されてきた皆さまのご努力は、姫路の未来を築く大きな力となっております。この70年の歴史は、姫路の発展を力強く牽引してこられた証であり、地域の誇りであります。私たちも、文化や歴史、自然の魅力を活かし、持続可能なまちづくりに努めており、姫路城をはじめとして、地域の伝統、観光資源を活用し、多くの方々に姫路の魅力を発信し続けてまいります。今後も、公益社団法人姫路青年会議所の皆さまと協働し、市民の皆さまがこれからも住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。皆さまの創意と情熱があれば、姫路は笑顔に溢れ、心躍る輝かしい未来を創っていけると確信しております。結びに、公益社団法人姫路青年会議所のさらなるご飛躍とご繁栄、そして皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。誠にありがとうございます。



姫路市長

清元 秀泰 様

Kiyomoto Hideyasu



公益社団法人 日本青年会議所
第75代 会頭

加藤 大将 様

Kato Daisuke

この度は、公益社団法人姫路青年会議所創立70周年、誠におめでとうございます。また、平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。70年という長きにわたり、姫路の地において明るい豊かな社会の実現を目指し、時代ごとの課題に真摯に向き合いながら、多くの運動を生み出してこられましたことは、歴代の先輩諸兄姉の熱き志しと弛まぬ努力の賜物であり、心より敬意を表します。創立より受け継がれてきた想いと伝統を礎に、貴青年会議所の皆さまにおかれましては、第70代理事長大塚兼史君のもと、「We can. We rise. 笑顔溢れ、心躍る未来へ」とのスローガンを掲げ、地域に希望と活力をもたらす運動を力強く展開されていることと存じます。その高い志しと行動力は、必ずや地域の未来に新たな価値を創造し、多くの笑顔へと繋がるものと確信しております。

2026年度、日本青年会議所は「真の心が生み出す幸せな国日本へ」の基本理念のもと、国民一人ひとりが未来に希望を抱き続けられる社会の創造を目指し、全国各地で運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、公益社団法人日本青年会議所を大いにご活用いただければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展と、地域における運動が大きな成果として結実されますこと、並びに皆さまのご健勝ご活躍を心よりご祈念申し上げます。

True Mind True Hope 幸せな未来へ

公益社団法人姫路青年会議所の創立70周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。シニアクラブの会員として、とても嬉しくその歴史を誇らしく思っております。1957年の設立以来、公益社団法人姫路青年会議所は混沌とした時代から70年の長きにわたり、地域文化やコミュニティ、都市計画や経済問題、青少年育成、国際交流など、播磨地域の活性化運動を展開してまいりました。まさしく青年会議所運動は時代を映す鏡であり、長年にわたりその地域の課題解決に取り組んできた活動は、「個人の修練(Training)、社会への奉仕(Service)、世界との友情(Friendship)」の三信条を体現する若者らしく、情熱をもって挑戦する姿勢は、まさにJC運動の原点そのものです。また最近では現役会員の皆さまがコロナ禍を経て社会環境が激変する中、新たな地域活性化や課題解決に取り組まれている姿も大変頼もしく感じております。

我々シニアクラブも、現役会員の皆さまの最も身近な応援団として今後も変わらぬ連携と支援を続けてまいります。現役時代に培った絆と経験をもとに、現役会員の皆さまが思い切った運動を展開できる環境づくりに努力してまいります。

この創立70周年が、次の80年、100年へ向けての新たな飛躍の契機となりますことを確信しております。公益社団法人姫路青年会議所のさらなるご発展と、現役会員の皆さまのご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人 姫路青年会議所
シニアクラブ 会長

赤鹿 保生 様

Akashika Yasuo



スポンサーJC
一般社団法人 西宮青年会議所
第76代 理事長

林 大輔 様

Hayashi Daisuke

公益社団法人姫路青年会議所の皆さま、創立70周年誠におめでとうございます。貴会議所が1957年の創立以来、全国114番目の青年会議所として、姫路のまちを想い、明るい豊かな社会の実現に向けて歩みを重ねてこられましたことに、スポンサーJCである一般社団法人西宮青年会議所を代表し、心より敬意を表します。

本年度、大塚理事長の掲げられる「We can. We rise. 笑顔溢れ、心躍る未来へ」のもと、70周年という大きな節目を迎えられた貴会議所が、これまで培われた歴史と誇りを礎に、姫路と世界を繋ぎ、心躍る挑戦を通じて、さらに力強く未来へ歩みを進められますことを心より祈念いたします。

私たち一般社団法人西宮青年会議所も、同じ兵庫の同志として、貴会議所とのご縁を大切にしながら、共に地域の未来を切り拓いてまいります。

結びに、公益社団法人姫路青年会議所の益々のご発展と、現役会員各位のご健勝ご活躍を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

公益社団法人姫路青年会議所の創立70周年、誠におめでとうございます。

1957年の創立以来、姫路の発展のために紡いでこられた輝かしい歴史と、先輩諸氏から受け継がれた志しに深く敬意を表します。また、一般社団法人唐津青年会議所とは姉妹締結から60年という還暦の節目を共に歩み、世代を超えて深い絆を育んでこられたことに心より感謝申し上げます。

本年度、大塚理事長が掲げられる「We can. We rise. 笑顔溢れ、心躍る未来へ」というスローガンのもと、確信をもって挑戦し続ける皆さまの姿は、同じ志しをもつ私たちにとても大きな励みです。

貴会議所がこれからも地域に限りなき可能性をもたらすことを確信しております。

結びに、公益社団法人姫路青年会議所の益々のご発展と皆さまのご多幸を、誇り高き姉妹JCとして心からお祈り申し上げます。



姉妹JC
一般社団法人 唐津青年会議所
第65代 理事長

木村 剛 様

Kimura Tsuyoshi



姉妹JC
濠江(Hou Kong)青年商會
理事長

Mr. Davii Chan

On the occasion of the 70th anniversary of JCI Himeji, I sincerely extend warm congratulations and best regards on behalf of JCI Hou Kong. Over seventy years, your association has dedicated itself to community development and youth cultivation with remarkable achievements. Though far apart, our two chambers have maintained close ties, learned from each other and fostered profound friendship. Adhering to our annual theme "Same Path, United Future", we hope to stay united for steady progress. We look forward to furthering exchanges, pursuing innovation and win-win cooperation, and building a better platform for young people on both sides. Wish your chamber prosperous development and everlasting friendship between us.

(翻訳)公益社団法人姫路青年会議所の創立70周年に際し、JCI Hou Kongを代表して心よりお祝い申し上げますとともに、心からの敬意を表します。貴会議所は70年にわたり、地域社会の発展と青少年の育成に尽力され、数々の素晴らしい成果を築いてこられました。距離は離れていても、私たち両会議所はこれまで親密な関係を維持し、互いに学び合いながら深い友情を育んできました。本年度のテーマである「Same Path, United Future」のもと、私たちは今後も団結し、着実な発展を続けていきたいと考えています。さらに交流を深め、革新と相互利益に基づく協力関係を推進するとともに、両地域の青年にとってより良い成長の機会と交流の場を築いていけることを期待しています。貴会議所のさらなる発展と繁栄、そして私たちの友情が末永く続くことを心より祈念申し上げます。

まち・ひと・組織づくりを重ねて

いく70年のあしあと



1956

姫路青年会議所の
設立準備始まる

1961

家島坊勢中学校へ
図書寄贈



1971

姫路公害防止産業展開催
経済開発と社会問題との調和に取り組む

1981

街頭献血により、厚生大臣
より表彰される



1991

マカオのJCI濠江との
姉妹JC締結



1966

市内全小学校にオルガン寄贈
児童文化センター竣工

1976

経済マップ「白鷺'76」発行
市へキャンプ用テント30張寄贈

1986

JC野球教室開催
(星野仙一氏)



1996

中核市JC協議会設立

1956年	姫路商工会議所商業課長西尾敬進氏の指導の下、姫路青年会議所の設立準備始まる	
1957年 3月	第1回発起人会開催	
1958年 2月	第1回臨時総会開催 阪本兵庫県知事を迎え、文化講演会開催	1957年 創立総会開催
1959年 6月	第3回近畿地区会員大会主管	
1960年 8月	例会に迎えた石見元秀姫路市長に建設基金150万円を贈呈 JCI西脇認証書伝達式、姫路青年会議所スポンサーとなる	1959年 第3回近畿地区会員大会主管
1961年 6月	創立5周年記念祝賀会開催 JCI西岡認証書伝達式、姫路青年会議所スポンサーとなる	
1962年 6月	創立記念家族会開催	
1963年 6月	姫路市都市計画、道路計画について市長との懇談会開催	
1964年 9月	(社)日本青年会議所小谷隆一会頭来姫 問題の解決を市長と話し合うCDの姫路として全国に知れわたる JCI相生・JCI赤穂認証書伝達式、姫路青年会議所スポンサーとなる	
1965年 1月~6月	各地青年会議所、CD計画研究のため来姫	
10月	例会において公害問題をとりあげる	
1966年 5月	創立10周年記念式典開催 市内全小学校にオルガン寄贈 児童文化センター竣工	
5月	第14回近畿地区会員大会にて最優秀 JC賞受賞	
6月	唐津青年会議所との姉妹 JC提携調印式	
11月	全国会員大会にて児童文化センター建設で優秀 JC賞受賞	
1967年 2月	第1回ケイカツセミナー開催 月1回の経済活動についての勉強会を開始	
3月	交通問題特別委員会を設置し、道路問題の改善にのり出す JCI龍野認証書伝達式、姫路青年会議所スポンサーとなる	
1968年 11月	「姫路に明日の黎明を」第1回ビジョンシンポジウム開催 行政のかかえる諸問題を市民参加で話し合う場を青年会議所が提供、大きな評価を得る	
1969年 3月	姫路青年会議所、社団法人となる	
5月	「姫路バイパスを早くつけよう」ステッカー作成配布	
8月	姫路バイパス早期実現のため署名運動開始	
10月	10万人署名を持って建設大臣へ陳情	

1970年 1月	メンバー数100名突破	
4月	姫路商工会議所火災により全焼 青年会議所事務局を失う	
10月	道路問題シンポジウム開催	
1971年 8月	姫路公害防止産業展開催 経済開発と社会問題との調和に取り組む	1970年 道路問題シンポジウム開催
9月	創立15周年記念式典開催 教育市民集会「現代っ子と家庭教育」開催	1971年 現代っ子と家庭教育開催
1972年 3月	献血・交通モニター会議開催	
5月	婦人講演会「愛ある家庭生活」(池坊保子氏)開催	
1973年 5月	第4回教育市民集会「日本の家庭像」(会田雄次氏)「放任主義」(羽仁進氏)開催	1971年 現代っ子と家庭教育開催
9月	西播5JC合同例会開催	
12月	市とのゴミ処理問題会議開催	
1974年 5月	第1回JC音楽の夕べ開催	1974年 第1回JC音楽の夕べ開催
8月~9月	高架問題について市との懇談会	
11月	第1回都市問題シンポジウム開催	
1975年 5月	交通遺児の街頭募金活動開始	
7月	ちびっ子集合コンサート開催	
8月	第5回教育市民集会開催	
9月	交通安全ちびっ子大会開催	
1976年 4月	春のジュニアO・B・S開催 小学生を対象に肉体精神両面の鍛錬を行い力をつける野外スクール	
5月	経済マップ「白鷺'76」発行 市へキャンプ用テント30張寄贈	
5月	創立20周年記念式典開催 播磨の民話「母子鐘」上演	
5月	第24回近畿地区会員大会主管	
9月	「姫路の今と昔」写真展開催	
1977年 6月	JCコンサート開催	
9月	都市開発シンポジウム開催「百才都市姫路への提言」講師 小松左京氏	
9月	教育問題講演会(海部俊樹文部大臣)開催 姫路経済マップ発行	
1978年 1月	JCかわら版の創刊	
4月	交通遺児1億円基金開始	
9月	教育市民集会、JCコンサート開催	
10月	街頭献血活動の開始	
1979年 5月	教育市民集会「たくましい根性づくり」開催	
9月	教育市民集会「世界の中の日本の教育」開催	

1980年 9月	第15回兵庫ブロック会員大会主管	
1981年 1月~3月	姫路城周辺観光文化財ルートマップ作成	
1月~7月	住みよい姫路をつくる委員会 姫路城内電柱無柱化運動展開	
	1981年 姫路城内電柱無柱化運動	
1982年 2月	街角クリーン作戦、ノーボイ運動の呼びかけ	
1983年 2月	市長選立候補者への公開質問状提出	
8月	城周辺施設来訪者アンケート実施 ウォッチ・ザ議会開催 (行政改革推進運動)	
1984年 1月	姫路市ニューメディア・フォーラムへの参加	
8月	第1回城下町マラソン大会開催(1,240名参加)	
	1984年 第1回城下町マラソン大会開催	
1985年 2月	「家庭教育を考える会」開催	
4月~11月	交通安全キャラバン隊への参加	
9月	市民防災フェスティバル開催	
1986年 6月	創立30周年記念式典開催 ちびっ子市議会開催	
	30周年記念モニュメント「ソーラー時計」駅前に設置	
1987年 2月	「新日鉄高炉問題」県・市・新日鉄へ提言	
10月	「21世紀・播磨の空を考える」シンポジウム開催	
1988年 2月	プラザタウンネット開設	
7月	教育講演会開催(中島源太郎文部大臣)	
1989年 2月	「播磨に空港をつくらう市民の会」発足式開催 ジェットヘリ2台によるデモフライト	
3月	シロトピアJCデー 大行列・人力車演出、熱気球上げ、チャリティバザー、百祭劇場クイズ大会のイベントを行う	
7月	播磨空港建設賛同の署名22万を集める	
7月	22万名の署名を製本、県へ陳情	
8月	「播磨空港とこれからの市民生活」(能村龍太郎氏)	
8月	第22回兵庫ブロック会員大会主管	

1990年 6月	JCI姫路創立35周年記念事業シンボルマーク決定 JCIニュース市民版「We Love Himeji」を発行	
1991年 6月	35周年記念式典開催 マカオの濠江青年商會との姉妹JC締結	
	1991年 マカオのJCI濠江との姉妹JC締結	
1992年 7月	街づくりフォーラム開催	
1993年 7月	『毛利衛氏講演会』開催 姫路市と共催	
11月	明潤琴琴贈目録贈呈式(仮)伝統工芸館へ	
1994年 3月~9月	テレホンカード収集による国際貢献運動	
11月	JCI世界会議 神戸大会 副主管、「JCI今昔物語」を企画・実施	
1995年 1月~3月	LOM事業を休止し阪神・淡路大震災復興支援活動を行う	
3月	「第1回姫路子ども議会」開催	
6月	国外企業視察「空洞化」開催 大連、上海訪問	
1996年 8月	西播磨5JC「LOMジョイント勉強会」~もっと絆Y 我ら西播磨の仲間たち~開催	
8月	「あつまろうやZ 姫路」~夢ひろげよう~開催	
9月~11月	同展記念写真集・CD-ROM「意を彫り技を刻む」発刊(創立40周年特別記念出版)	
12月	インターネット研究会設立	
12月	創立40周年記念誌「Himeji Jumping Challenge 21」発刊	
1997年 8月	姉妹JC交流事業としてショート・ホームステイの実施	
10月	西播磨5JC テクノまちびらきイベント「光都創出物語~光の国からのメッセージ」開催	
1998年 4月	まちづくりワークショップファシリテーター養成セミナー初級編・初中級編の実施	
5月	西播磨5JC共同事業「5月合同例会」開催 JCI日本 村岡兼幸直前会頭による講演会	
7月	屋台文化保存連絡会設立	
9月	キャストィ21市民参加事業「シム・キャストィ」開催	
10月	濠江青年商會 創立10周年記念式典への参加	
1999年 8月	新聞紙面にJCIの理念の意見広告掲載 CATVでも青年会議所運動・組織について放映	
11月	「全国会員大会」誘致に向け活動開始(総会承認)	

姫路のまちとともに

に刻む挑戦の軌跡

2001

「キラめき！創造力フェスティバル＝ダンボールアート・コンテスト in はりま＝」開催



2011

創立55周年記念例会
「55年の絆にありがとう！そして永く未来へ…」



2006

創立50周年式典並びに祝賀懇親会開催
姫路みゆき通り商店街で「ドミノでつなげよう姫路の WA」開催



2016

公益社団法人姫路青年会議所創立60周年記念式典(一般社団法人唐津青年会議所姉妹締結50周年記念式典)



- 2000年 2月 総務委員会 LOM内褒章を実施
- 兵庫ブロック委員会協議会に於いて、JCI姫路の全国会員大会誘致が全会一致で賛成を得る
- 広報・渉外委員会 LOMのホームページを本稼動
- 6月~7月 ひめじチャレン見 2000《子ども未来教室》開催
- 2001年 6月 創立45周年記念式典並びにJCI姫路一 濠江青年商會姉妹締結10周年記念式典開催
- 創立45周年記念誌「みんなの誓」 2000年 ひめじチャレン見 2000並びに「姫路のまちづくりグランドデザイン」発行
- 7月 近畿地区協議会へ褒賞エントリー、「まちづくり推進賞」を受賞
- 2002年 7月~9月 『こころの教育課外授業』を実施
- 9月 (社)日本青年会議所第9回理事会(旭川)において、第54回(社)日本青年会議所全国会員大会主管が決定する
- 11月 研修特別委員会模擬事業「FIELD 2002年 こころの教育課外授業 OF DREAMS」の開催
- 2003年 3月~9月 播州屋台台館早期建設に向けた活動(署名活動)実施
- 3月 第54回全国会員大会姫路大会日程が決定する
- 8月 あ！WA ずGARDEN 2003・はりま NPO・ボランティアアワード 2003の開催(ひめじ良き恋まつりと同時開催)『ダンボールアートコンテストV3』、めざせ！スローライフ(スローに語ろう劇場)、2003年 あ！WAずGARDEN2003スローライフ体験道場、ひめじワンワールドキッズフェスティバル 2003、播州屋台台館早期建設に向けたシンポジウムの開催
- 2004年 6月 はりまNPO・ボランティアアワード 2004開催
- 11月 「微生物の神秘 食文化、スローフードを味わおう！」校長会へ報告書の提出
- 2005年 1月 第54回(社)日本青年会議所全国会員大会姫路大会主管締結式を執り行う
- 8月 全国大会運営会議総決起集会
- 10月 第60回JCI世界会議(ウィーン大会)ジャパンナイトでのブース出展
- 12月 DVD「感動と思い出～141のヨイヤッサッ!～」作成

- 2006年 8月 創立50周年記念講演～未知への航海～開催(講師:堀江謙一氏) 創立50周年式典並びに祝賀懇親会開催 姫路みゆき通り商店街で「ドミノでつなげよう姫路の WA」開催
- 創立50周年記念事業「風雲姫路城～お城まつり「水の陣」～」開催
- 2006年 ドミノでつなげよう姫路のWA
- 2007年 8月 『姫路あかりファンタジーワールド～星空と動物たちからの贈り物～』スター★ナイト キャッスル(竹を使ったあかりの Monument 製作と鑑賞、及びヒーリングライブの実施) スター★ナイト ZOO(姫路市立動物園のライトアップと夜間ツアーの実施)
- 2008年 5月 「祭り！祭り！祭りまみれ!!」～シデを伝え誇りを創る～ 開催
- 6月 田んぼでつなげよう姫路のWA！開催
- 7月 日本の最古が姫路の山に!?! 最古! 最高! 誇りを見つけにさあ行こう～日本米のルーツと日本最古の寺院跡を巡る～ 開催
- 12月 石見市長を訪問し、提案書「魅力あふれる城下町ひめじ～笑顔あふれるまちに向かって～」を提出
- 2009年 4月 兵庫ブロック協議会「理事長懇談会及び会頭アカデミー」にて JCI日本安里繁信会頭 来姫
- 6月 姫路あかりプレゼンテーション開催
- 9月 新入会員模擬事業「～OTONAのわくわく・KODOMOの思い出～姫路JCMンのための大運動会!!」開催
- 2010年 8月 (社)日本青年会議所全国会員大会姫路大会5周年記念事業～みんな集まれ姫路JCI夏まつり in 姫路お城まつり～あの感動をもう一度!ヨイヤッサッ!にっぼん!!
- 第54回全国会員大会姫路大会5周年記念式典並びに記念懇親会 2010年「姫路愛城魂」～砂に想いを込めて～開催～市民がつくる観光都市姫路未来創造プロジェクト～落語のまち姫路2010開催「姫路愛城魂」～砂に想いを込めて～(姫路城砂象作成) 開催 スター★ナイトZOO(姫路市立動物園のライトアップ) 開催 よろいでつなGO!未来の姫路～あつまれひめじ夏の陣～(鎧・陣笠の制作・お城まつりパレードへの参加)開催
- 11月 JCI世界会議大阪大会 ジャパンナイトでのブース出展

- 2011年 3月 東北地方太平洋沖地震 姫路JCI災害対策本部設置
- 3月 東北地方太平洋沖地震 街頭募金活動開始
- 4月 支援物資 公益社団法人日本青年会議所兵庫ブロック協議会へ搬送
- 6月 6月創立55周年記念例会「55年の絆にありがとう！そして永く未来へ…」((社)唐津青年会議所姉妹締結45周年記念式典・濠江青年商會姉妹締結20周年記念式典) 開催
- 2011年 東北地方太平洋沖地震支援活動
- 2012年 1月 播磨国総社 初えびす祭 宝恵駕籠行列 参加
- 3月 3月オープン例会 ～田母神俊雄氏が語る 日本人である誇り～開催
- 9月 9月オープン例会 東国原英夫氏講演～どげんかせんといかん!! 踏み出そう未来へ!!～開催
- 12月 12月忘年例会 & 忘年パーティー～心をひとつに～開催
- 2012年 東国原英夫氏講演～どげんかせんといかん!!踏み出そう未来へ!!～
- 2013年 9月 Himeji Dream Festa 2013 ～ひかり輝く未来のために～開催 『姫路夢あかり2013』～あかりで繋ぐ城下町～『世界つながり発見!～心の国際化を目指して!～』姫路・唐津交流事業「Himeji Dream Festa 2013」ブース出展 『平成2世代 真剣ガチンコ・アンケート パネルエキシビジョン』LOM全体事業として同日実施
- 2014年 8月 姫路夏あかり2014 ひと・まち～みんなが主役(スター)～開催
- 9月 模擬事業 まなでがッテン 姫路の偉人 黒田官兵衛 開催
- 模擬事業 つながるヨロコビ 生まれるエガオ～合言葉は OMNIKIN!!～開催
- 12月 国際会議招致及び開催に向けた調査研究の推進(総会承認)
- 2015年 1月~12月 愛あふれる姫路 JCIアワード2015 LOM内褒賞 実施
- 10月 藤原和博の姫路で一番聞きたい講演～地域で子どもを育てよう～開催
- 11月 11月卒業例会 感じよう!愛を! 想いの込められたバトンを未来へ繋ごう!! 開催
- 11月 濠江青年商會創立27周年記念式典 出席
- 12月 12月忘年例会 & 忘年パーティー 情熱全開! 繋げ愛のバトン!! ～笑ってまみれて～開催
- 2015年 藤原和博の姫路で一番聞きたい講演～地域で子どもを育てよう～

- 2016年 5月 公益社団法人姫路青年会議所創立60周年記念式典(一般社団法人唐津青年会議所姉妹締結50周年記念式典) 公益社団法人姫路青年会議所創立60周年記念式典～歴史を誇り志を抱け! 姫路を誇り未来を描け!～開催
- 9月 公益社団法人姫路青年会議所、濠江青年商會 姉妹JCI締結25周年記念式典 マカオにて実施
- 11月 第71回JCI世界会議 ケベック大会 JAPAN ナイトブース出展～姫路の良さが世界の噂～開催
- 2017年 5月 2017年 姫路わんぱく相撲大会(第7回わんぱく相撲姫路場所・第24回姫路市少年少女相撲大会)開催
- 8月 8月家族例会「眩しいくらいに家族を照らせ!」開催
- 11月 第72回JCI世界会議 アムステルダム大会 JAPAN ナイトブース出展～姫路の魅力で想い届け～開催
- 2018年 7月 第31回国際アカデミーin姫路 開催
- 7月 公益社団法人姫路青年会議所主催 セミナー ～ドロッカーに学ぶ儲かる会社の作り方～開催
- 10月 ワオ! スーパーサイエンス ～みんなで学び・考え・実験しまSHOW!～開催
- 2018年 国際アカデミーin姫路
- 11月 第73回JCI世界会議 ゴア大会 JAPAN ナイトブース出展～SEKAIに羽ばたけ! HIMEJIの魅力～開催
- 2019年 1月 播磨国総社 初えびす祭 宝恵駕籠行列 参加
- 3月 3月発信力UP例会～想いをひとつにULTRA発信タイム!～開催
- 4月 姫路市長選挙公開討論会～未来を変えるのはあなたです!～開催
- 5月 公益社団法人姫路青年会議所主催セミナー 代打の神様 松山進次郎氏から学ぶ出会いが育む勝負力! 開催
- 11月 第74回JCI世界会議 トリン大会 JAPAN ナイトブース出展～拡げ繋げようHIMEJIへの架け橋～開催
- 2020年 2月 2月新入会員歓迎例会「志高く!～友情の先に育む絆!～開催
- 5月 全国城下町シンポジウム高岡大会 参加(オンライン配信)
- 6月 「6月創立例会並びに創立動画～過去を知り、今に活かす!～」オンライン開催
- 10月 「みんなの力で作り上げよう!～ロボットプログラミング学習×ポッチャ対決＝ロッチャ体験～」開催
- 10月 姫路市と災害時における物資の供給及び避難所の支援等に関する協定締結
- 11月 「二十〇会模擬事業 志高く! 友情を育む二十〇アーチェリー」開催

2021年

President's Slogan

「先駆者たれ～共感で広がる
誰もが輝ける持続可能なまち～」

第65代 理事長

清水 大輔

Shimizu Daisuke



2021年度の活動

通年 ウェブ活用計画/拡大ツール/LOM内褒賞 実施

- 1月～12月 公益社団法人姫路青年会議所2021年ウェブシステム活用計画 発信
- 1月～8月 拡大ツール2021～意識をチェンジで掴み取れ！そこにある拡大チャンス～ 実施
- 1月～12月 共感で広がる姫路JCアワード2021 LOM内褒賞 実施
- 1月 1月新年例会並びに新年賀会 共感で広がる新たな時代～伝える！胎動する熱き想いを～ 開催
- 2月 2月新入会員歓迎例会～挑戦が育む仲間の絆～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止(オンライン開催)
- 3月 3月拡大例会～意識をチェンジで見えた！こんなところに拡大チャンス～ 開催
- 4月 4月防災例会～備えて始まる！家族と暮らす安心な姫路のまち～開催
- 5月 西播磨4青年会議所5月合同例会新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 5月 JCカップサッカー2021姫路予選リーグ～未来へ輝け 姫路のスター～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 5月 シニア現役交流ゴルフコンペ新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 5月 姫路わんぱく相撲大会(第10回わんぱく相撲姫路場所・第27回姫路市少年少女相撲大会)開催
- 5月 全国城下町シンポジウム津山大会(オンライン開催)
- 6月・8月 公益社団法人姫路青年会議所説明会
- 6月 6月創立例会並びに創立パーティー～共感が織りなす 伝統と感謝と愛と絆の物語(ストーリー)～ 開催
- 7月 7月オープン例会Positive Change!～君はやるのかやらないのか～開催
- 8月 公益社団法人姫路青年会議所創立65周年記念式典(一般社団法人唐津青年会議所姉妹締結55周年記念式典・濠江青年商會姉妹締結30周年記念式典)
公益社団法人姫路青年会議所創立65周年記念祝賀会～先駆者達の思いを胸に、持続可能な姫路の未来へフルスロットル!～開催
- 8月 HIMEJI JC FESTIVAL 2021～ミライヘカケル～開催
65周年記念事業 ひめじSDGsまちづくりプロジェクト～挑戦しよう！姫路から広がる無限の未来～同日開催
『世界ゆるスポーツ～ミライヘカケル姫路のスポーツを創ろう!～』
『事前防災のスズメ～キミも今日から防災レンジャー～』
『タグリ寄せて、カケ合わせる! 倍発信で叶える姫路のミライ!』
LOM全体事業として同日実施
- 8月 8月家族例会～家族への想い愛ライクユー! 感謝の気持ちドストライクユー!～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 9月 9月オープン例会～大切な人と共に備えよう! 意識で変わる愛する姫路のまち～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 10月 距離はNo密! 心は濃密! 絆を深めるNo密ワードワルフ 開催
- 10月 10月まちづくり例会～これが公益社団法人姫路青年会議所の目指す道～ 開催
- 11月 お城まつり 空に輝く灯りに想いをのせて～木綿で紡ぐ姫路の未来～ 開催
- 11月 11月卒業例会 原点復帰! 羽ばたけ! NextStage!～強く、凛々しく、逞しく～ 開催
- 11月 一般社団法人唐津青年会議所懇親会及び交流会 姫路にて実施
- 12月 12月忘年例会並びに忘年パーティー～共感と感謝でにぎる愛ざんまい～ 開催



2022年

President's Slogan

「支え称えあおう!
笑顔の集うまちを目指して」

第66代 理事長

秋本 剛宏

Akimoto Takehiro



2022年度の活動

通年 ウェブ活用計画/拡大ツール/LOM内褒賞 実施
環境意識変革計画 3～12月

- 1月～12月 公益社団法人姫路青年会議所2022年度ウェブシステム活用計画発信
- 1月～8月 2022年度拡大戦略ツール～拡大から生まれる生涯の同志(とも)～ 実施
- 1月～12月 笑顔の集う姫路JCアワード2022 LOM内褒賞 実施
- 1月 1月新年例会並びに新年賀会 届け、熱い想い!～笑顔の集う姫路を目指して～ 開催
- 2月 2月新入会員歓迎例会「JCをめっちゃ好きになろう!」～「いま」「ここ」から芽生える先輩会員との絆～ 開催
- 2月～8月 姫路KEIZAI未来プロジェクト2022～新しいビジネスを創れるまちに～ 開催
- 3月～12月 公益社団法人姫路青年会議所2022年度 環境意識変革計画 実施
- 3月 3月拡大例会～組織ブランディングから始まる拡大新時代～ 開催
- 4月 4月オープン例会～危機迫る! 備えよう! 地域防災の大切さ～開催
- 4月 ヒメキャン!!～未来(あす)を迎える初めのヨイヤサツ～ 開催
- 5月 西播磨4青年会議所 5月合同例会～認め合おう! 届けよう! 多様性の輪!～ 開催
- 5月 JCカップサッカー2022 姫路予選リーグ～心をもやし、きもちを未来(あす)に! おもいを重ねる全集中!～ 開催
- 5月 シニア現役交流ゴルフコンペ 開催
- 5月 千姫からのラブレター～海より深い愛～ 開催
- 5月 姫路わんぱく相撲大会 開催
- 5月 2022 JCI ASPAC堺高石大会 ジャパンナイトブース出展～HIMEJIの魅力に酔いしれる!～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 6月・7月・9月・10月 未来(あす)を耕せ! 姫路キッズファーマー! 開催
- 6月 6月創立例会並びに創立記念パーティー支え称えあおう!～縁で繋がるJCの輪～ 開催
- 6月・8月 公益社団法人姫路青年会議所入会説明会 開催
- 7月・8月 オンライン交流会～海をこえて、つながり、つなえ、わかちあおう～新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 7月 7月オープン例会～逃げちゃダメだ環境問題! 今こそ向き合い行動しよう!～ 開催
- 8月 ミライを創る地方経済サミット～地方の課題に向き合う「始まりのONE DAY」～ 開催
- 8月 8月家族交流例会～みんなで灯す夏の思い出～ 開催
- 8月 ひめじエコレシビ博覧会2022～持続可能なもう一つの家庭科授業～ 開催
- 9月 スマイルフェスタ2022～つながる笑顔、つながる姫路～ 開催 防災フェスティバル～助け合おう防災レース・学ぼう防災クッキング～ 開催
- 9月 9月オープン例会 芸術で織りなすチャレンジフェスタ～U-25による新時代への挑戦～ 開催
- 9月 模擬事業 ニャンニャンをプレゼンツ!「ニャンがニャンでも繋がりたい!」～想いを届け無限の彼方へ～ 開催
- 10月 10月オープン例会 SDGsで経済循環～未来の姫路をデザインしよう!～ 開催
- 11月 2022 JCI 世界会議香港大会 ジャパンナイトブース出展～HIMEJIの魅力に酔いしれる!～ 開催
- 11月 11月卒業例会 笑顔で歩み続けよう!～ボクらの明るいJAYCEE衛(ロード)～ 開催
- 11月 一般社団法人唐津青年会議所交流会 唐津にて開催
- 12月 12月忘年例会ならびに忘年パーティー 支え称えあおう!～バンザイJC好きでよかった～ 開催



2023年

President's Slogan

「超越の起点

～次代につながる物語～」

第67代 理事長

有川 勝紀

Arikawa Katsutoshi



2024年

President's Slogan

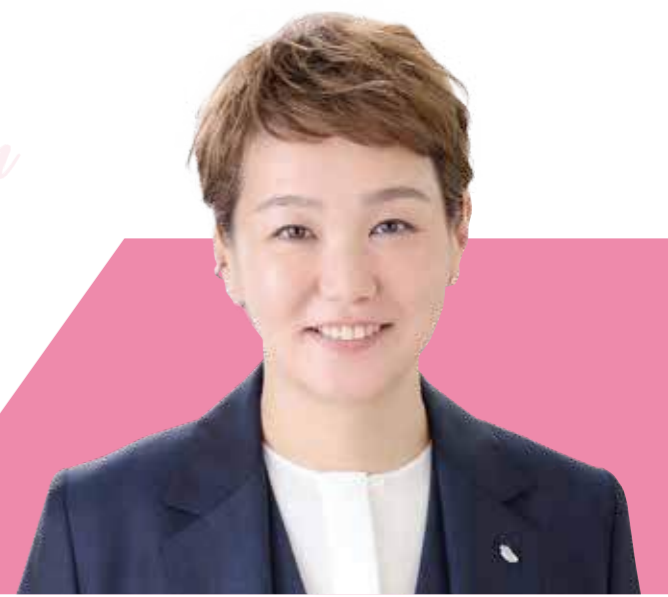
「Be The Change.

可能性と多様性を無限に」

第68代 理事長

神畑 浩子

Kamihata Hiroko



2023年度の活動

通年 ウェブ活用計画/拡大ツール/LOM内褒賞 実施

- 1月～12月 JCI姫路2023年度ウェブシステム活用計画 発信
- 1月～8月 拡大戦略ツール2023～ご縁で広げる拡大の輪～ 実施
- 1月～12月 次代につながる姫路JCAワード2023 LOM内褒章 実施
- 1月 「1月新年例会並びに新年賀会」勇往邁進～想いと共に次代へ歩む～ 開催
- 1月 播磨国総社初えびす祭 宝恵駕籠行列 参加
- 2月 近畿地区大会姫路大会 副主管契約締結式 開催
- 2月 2月新入会員歓迎例会 共に変化を起こそう!～「伝統を受け継いで掴む絆」Are You Ready?～ 開催
- 3月 3月まちづくり意識向上例会～みんなで創ろう彩り豊かな姫路のまち～ 開催
- 4月 4月オープン例会 みらいがかわるメッセージ～君に届け 環境問題～ 開催
- 第73回 JCI ASPACジャカルタ大会 ジャパンナイトブース出展
- ～HIMEJIを魅せまSHOWTIME in JAKARTA～ 開催
- 5月 第9回MJS presents JCカップU-11少女サッカー姫路大会 雨天中止
- 5月 シニア現役交流ゴルフコンペ 開催
- 5月 西播磨3青年会議所 5月合同例会～「心にしみる顧客満足」～ 開催
- 5月 姫路わんぱく相撲大会 開催
- 5月～8月 Let's Try! You Can Do It!!～世界に翔く君たちへ～
- 6月 ドッジボールアカデミア2023～君はヒーローになれる～ 開催
- 6月～8月 公益社団法人姫路青年会議所入会説明会 開催
- 6月 「6月創立例会並びに創立記念パーティー」鼓舞激励～想いをつなぐ次代へ歩む～ 開催
- 6月・7月・8月 森林(もり)からつながる防災対策～ひめじのRe:MORIプロジェクト～ 開催
- 7月・8月 スマイルフェスタ2023～より良くを集め壮大なまちへ～ 開催
- 7月 7月オープン例会 次代を創る主人公～君は君らしく!ダイジョブ、ダイジョブ!!～ 開催
- 7月 近畿地区大会姫路大会 開催
- 2023年度近畿地区大会姫路大会特別記念講演「日本を語ろう」 開催
- 8月 姫路商店街探検隊～フォトラリーdeキズナキ拉里～ 開催
- 8月 濠江青年商會35周年記念式典 出席
- 8月 8月家族HAPPY例会～家族を魅せまSHOWTIME～ 開催
- 9月 唐津青年会議所交流会 姫路にて 開催
- 9月 生える友情 芽生える絆 世界はそれを2323と呼ぶんだぜ!～今こそ君のターン! 2323カード大戦2023～ 開催
- 生える友情 芽生える絆 世界はそれを2323と呼ぶんだぜ!～仲間と共に!2323チャンバラ大合戦!～ 開催
- 9月 9月オープン例会 Change the world ～新時代への挑戦～ 開催
- 9月・10月・11月 みんなで創る張り子道～みんなが主役、壮大なまちへ～ 開催
- 10月 10月次代へつなげるまちづくり例会～挑戦の向こう側～ 開催
- 11月 11月卒業例会 紡いだ想いを次代へつなぐ!ここから始める物語 開催
- 11月 第78回 JCI世界会議 チューリッヒ大会 ジャパンナイトブース出展
- ～HIMEJIを魅せまSHOWTIME in ZURICH～ 開催
- 12月 「12月忘年会並びに忘年パーティー」一期一会～ありがとうと叫びたい～ 開催



2024年度の活動

通年 ウェブ活用計画/拡大ツール/LOM内褒賞 実施
ダイバーシティ通信 配信(4～10月)

- 1月 能登半島震災復興支援
- 1月～12月 JCI 姫路2024年度ウェブシステム活用計画 発信
- 1月～8月 2024年度拡大戦略ツール～ The story starts here ～ 実施
- 1月～12月 Be The Change.姫路JCAワード2024 LOM内褒章 実施
- 1月 1月新年例会並びに新年賀会 -transport our tradition- 開催
- 1月 播磨国総社 初えびす祭 宝恵駕籠行列 参加
- 2月 2月新入会員歓迎例会 熱きJAYCEEへの道～常熱の前奏曲(プレリウド)～ 開催
- 3月 3月グローバル人財育成例会～育てよう!世界で輝く姫路の宝～ 開催
- ダイバーシティ通信～多様性の輝きを求めて～ 配信
- 4月～10月 姫路ローカルリーダーズ発掘プロジェクト2024～立ち上がり若者たち!～ 開催
- 4月～5月 姫路レザラーが奏でる音色～姫路のめっちゃええとこ発見～ 開催
- 4月 4月オープン例会 ここから始まるダイバーシティ～ちがいがあから共に創れる～ 開催
- 4月 Walking with Himeji ～魅力輝く EXPO計画～ 開催
- 5月 シニア現役交流ゴルフコンペ 開催
- 5月 第31回姫路市少女相撲大会・第14回わんぱく相撲姫路場所 開催
- 5月 西播磨2青年会議所 5月合同例会 開催
- 6月 第10回JCカップU-11少女サッカー全国大会兵庫予選大会 開催
- 6月 第74回JCI ASPAC アンコール大会 ジャパンナイトブース出展～HIMEJIの輝きを体験せよ～ 開催
- 6月・7月・8月・9月 学生×企業でツナガル未来～若者パワーで企業の魅力を発信しよう!～ 開催
- 6月 公益社団法人姫路青年会議所主催セミナー～名将から学ぶ育成術と人生の教訓～ 開催
- 6月 濠江青年商會(マカオ)交流事業 姫路にて 開催
- 6月 6月創立例会並びに創立記念パーティー-transport our gratitude-開催
- 7月 Be a global change maker ～世界の仲間と共に～ 開催
- 7月 7月オープン例会 Let's Try Himeji Town Meeting!～インバウンドチャンス 輝く魅力を世界へ～ 開催
- 8月 公益社団法人姫路青年会議所入会説明会 開催
- 8月 8月家族メモリアル例会～絆にコシを、繋がる想い～ 開催～ リーダーの挑戦、その先へ～ 開催
- 8月・9月 HIMEJI JCSマイル☆フェスタ2024
- ～彩り豊かなめっちゃええまち～ 開催 体感せよ!～多くの魅力が忍ぶまち～ 開催
- ダイバーシティパーク～あなたの個性、ナイスです!～ 開催
- 学生×企業でツナガル未来～若者パワーで企業の魅力を発信しよう!～
- <魅力発信実践編>開催
- 9月 一般社団法人唐津青年会議所交流会 唐津にて 開催
- 9月 9月オープン例会 元ラグビー日本代表 大畑大介の魔法の言葉 開催
- 9月 灼熱の火の球バトル!～熱き絆で共に羽ばたけ!～ 開催
- 10月 10月オープン例会～ナイスです! 無限に溢れるあなたの個性～ 開催
- 10月 第79回JCI 世界会議 桃園大会 ジャパンナイトブース出展～姫路の魔法にかかる夜! 世界をスーパで温めナイト～ 開催
- 11月 11月卒業例会 共に挑み、共に歩んだ友へ伝えるメッセージ 開催
- 12月 12月忘年会並びに忘年パーティー-transport our future - 開催



2025年

President's Slogan

「共創 ～ALL HIMEJIで、
心弾む時代を創造しよう～」

第69代 理事長

中嶋 崇

Nakashima Takashi



2026年

President's Slogan

「We can. We rise.
笑顔溢れ、心躍る未来へ」

第70代 理事長

大塚 兼史

Otsuka Kenji



2025年度の活動

通年 ウェブ活用計画/拡大ツール/LOM内褒賞 実施

- 1月～8月 2025年度拡大戦略ツール～会員拡大が生み出す拡大開拓～ 実施
- 1月～11月 共創 心弾むHIMEJI JCAワード2025 実施
- 1月～12月 公益社団法人姫路青年会議所2025年度ウェブシステム活用計画 発信
- 1月 1月新年例会並びに新年賀会～今ここに響く!心弾む始まりの鐘!～ 開催
- 1月 播磨國総社 初えびす祭 宝恵駕籠行列 参加
- 2月 2月新入会員歓迎例会 掴みとれ!挑戦し成長の先にある未来～チャンスよりオポチュニティ～ 開催
- 3月・5月 フルスイング!～次に繋がるステップ～ 開催
- 3月 3月オープン例会 知って得る!暮らしと経済～あなたとまちの相互フォロー～ 開催
- 4月・5月・6月・7月・11月 「アドベンチャーミーティング～地域活性化への挑戦～」開催
- 4月～5月 くるくる回る幸せ～今日からあなたも姫路独楽(コマ)推し～ 開催
- 4月 4月オープン例会 ヒメトーク!～オモシロ姫路を共創しちゃお～ 開催
- 4月・5月～7月 FILM30～若者よ、夢を止めるな～ 開催
- 4月 シニア現役交流ゴルフコンペ 開催
- 5月・6月・8月・9月 法被でhappy～国境を越えて想いよ届け～ 開催
- 5月 西播磨2青年会議所 5月合同例会 開催
- 5月 濠江青年商會(マカオ)交流事業 姫路にて 開催
- 5月・6月 ひめじ未来ラボ ～共創×デザイン思考で活気あるまちを描く～ 開催
- 6月 第75回JCI ASPAC ウランバトル大会 ジャパンナイトブース出展～レッツプレイJCI姫路神社～ 開催
- 6月 2025年度わんぱく相撲兵庫ブロック大会姫路場所 開催
- 6月 6月創立例会並びに創立記念パーティー～歴史と対話し、未来へ繋ぐ～ 開催
- 6月・7月・8月 HIMEJI JCSマイル☆フェスタ2025～心弾ませろ! Let's共創Summer～ 開催
- 8月 濠江青年商會(マカオ)交流事業 開催
- 8月 8月家族交流例会～感謝感激!家族愛♡食材を掴めJCI姫路からの挑戦状～ 開催
- 8月 公益社団法人姫路青年会議所入会説明会 開催
- 9月 一般社団法人唐津青年会議所交流会 唐津にて 開催
- 9月 9月オープン例会 ここに集い、次世代チャレンジャー!～広げよう挑戦の輪～ 開催
- 9月・11月 2025年度 仮会員現役会員交流会・引継式 開催
- 10月 ひめじ共創パーク ～6つの共創アイデアをまちで実証実験してみた～ 開催
- 10月 姫路アドベンチャーツーリズム～地域と連携したホンモノの歴史と深く出会う: be Himeji～ 開催
- 11月 第80回JCI 世界会議 チュニス大会 ジャパンナイトブース出展SPY of HIMEJI～奪われた宝を取り戻せ～ 開催
- 11月 11月卒業例会 託す想い、響け!～心弾む未来へ～ 開催
- 12月 12月忘年例会並びに忘年パーティー～感謝と感動の軌跡、仲間と未来へ～ 開催



2026年度 委員長紹介

<p>研修特別委員会 委員長 岡本 卓也</p>	<p>70周年 未来創造特別委員会 委員長 杉本 拓</p>	<p>笑顔溢れる国際のまち 創造委員会 委員長 山田 祐太郎</p>
<p>笑顔溢れる姫路のまち 創造委員会 委員長 宮本 逸平</p>	<p>笑顔溢れる青少年 育成委員会 委員長 西原 陽平</p>	<p>笑顔溢れる次世代 リーダー育成委員会 委員長 小牧 徹也</p>
<p>JC運動発信委員会 委員長 高石 浩平</p>	<p>渉外交流委員会 委員長 池田 翼</p>	<p>総務委員会 委員長 山田 周輝</p>

2026年度の活動

<p>3月オープン例会 【笑顔溢れる国際のまち創造委員会】</p>	<p>4月オープン例会 【笑顔溢れる青少年育成委員会】</p>	<p>会員拡大異業種交流会 【会員拡大委員会】</p>	<p>第76回姫路お城まつり 【笑顔溢れる姫路のまち創造委員会】</p>	<p>姫カツインターン 【笑顔溢れる次世代リーダー育成委員会】</p>
---------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------	--	---

理事長 未来ビジョン Roundtable 座談会



2023年 第67代理事長
有川 勝紀
Arikawa Katsutoshi

2026年 第70代理事長
大塚 兼史
Otsuka Kenji

2021年 第65代理事長
清水 大輔
Shimizu Daisuke

2022年 第66代理事長
秋本 剛宏
Akimoto Takehiro

2025年 第69代理事長
中嶋 崇
Nakashima Takashi

2024年 第68代理事長
神畑 浩子
Kamihata Hiroko

Himeji JC Future Vision

創立70周年を迎えた姫路青年会議所。受け継がれてきた歴史と想いを振り返り、未来ビジョンに込められた志を紐解きながら、これからの姫路青年会議所が進むべき道を語り合いました。

「姫路JC未来ビジョン2021～誰もが輝ける持続可能な姫路の創生～」について

清水: 2016年に神澤理事長のもとでつくられた前のビジョンを受けて、次の時代に合った新しいビジョンをつくらうと、当時は福原委員長と何度も議論を重ねました。ちょうど日本JCでもSDGsを本格的に推進しようという流れが出てきた時期で、わかりやすい指標としてこれを軸に検討を進め、最終的に「ビジョン2021」という形になりました。

秋本: 当時の所信として掲げた「支えて称え合おう」という言葉には、コロナ禍で思うように活動できない中でも、出向するメンバーも、それを支えるLOMの仲間も、お互いに感謝し合いながら進んでいきたいという想いを込めました。清水さんの5ヶ年計画の流れを受け継ぐ2年目として、まずは足元を固め、絆を深め、組織を少しでも強くしたい。そんな想いで1年間取り組みました。



有川: 2023年度に理事長を務めた中で、やはり大きな課題はコロナ禍による現役会員の経験不足でした。各種大会を十分に経験しないまま委員長を担う場面もある中で、秋本歴代理事長の経験も参考にしながら、他LOMや他団体から学び、それを地区大会へどう繋げていくかを意識しました。私自身は「できることはすべてやる」という想いで、1年間メンバーと共に取り組みました。

神畑: 清水理事長のビジョン策定時から4年間、理事として関わる中で、社会もJCも大きく変化する時期を経験してきました。理事長として所信を書く際には、その歩みを振り返りながら、自分に何ができるのか、姫路青年会議所にどう恩返しできるのかを改めて考えました。コロナが落ち着き国際事業を再開できるタイミングでもあったため、国際を軸に、ひとつとひとつの両面を意識して取り組みました。

中嶋: 5年目の集大成として理事長を務める中で、一番大切にしていたのは、青年会議所として社会にきちんとしたインパクトを残すことでした。その軸に置いたのが「共創」です。地域とどう連携し、誰とどんな価値を生み出していくのかを一人ひとりが考え、前例に捉われず自分たちの答えを形にすることが、この先の5年、10年に繋がると考えていました。

2021年から2025年までの振り返り

清水: コロナ禍で国際委員会を従来通り置くのが難しい中、国際の議題は各委員会で分担して進めました。その中でも、防災委員会を立ち上げたことは大きな挑戦だったと思います。併せて、ブロック大会や地区大会の誘致も見据えながら、持続可能なまちづくりを意識して取り組みました。全体事業も、続けていくことに意味があると考え、JCの名前を広く知ってもらうための発信の場として大切にしています。



秋本: 近畿地区大会に向けたPRの年度として準備を進める中で、姫路青年会議所として社会にインパクトを残したいという想いを強くもっていました。だからこそ全体事業を大切にしていって、みんなで大きな事業をやり遂げることが、学びや達成感、組織の結束に繋がると感じていました。コロナ禍でも、時間をかけて一つの事業をつくり上げることにこだわり、姫路城や火花、合同演奏など印象に残る取り組みができたと思っています。

有川: 火花事業は実施こそ難しくなりましたが、それだけ地域から大きな注目を集めていた証でもあり、姫路青年会議所の存在感を示す機会になったと感じています。中でも印象深いのは、地区大会事業に千宗室お家元のご講演を組み込んだことで、礼節や所作を含め多くの学びを得る貴重な経験となりました。地区大会そのものも、LOMの経験値を高め、行政や地域との関係を深める大きな機会になったと感じています。

神畑: 後半は次年度の意向との兼ね合いで理事長として思うように関われなかった悔しさも残っていますが、その中でも行政にはできないことを実現するのが青年会議所の役割だと改めて感じました。ダイバーシティやカンボジアとの国際事業、歌手を招いた全体事業など、ひとが集い、繋がることの価値を強く実感した1年でした。また、姫路の大規模事業を動かす場力は、長年積み重ねてきた経験の大きさだと改めて感じています。

中嶋: 私の年は、地域経済の活性化を大きなテーマに据え、姫路にお金の流れを生み出すことを強く意識していました。その中でインバウンドに着目し、海外から訪れる方々が地域で消費し、経済効果に繋がる仕組みづくりに取り組みました。また、市民と共に事業をつくる委員会も立ち上げ、各エリアでにぎわい創出を実践することで、姫路青年会議所の存在意義を地域に示せた1年だったと感じています。

「姫路JC未来ビジョン2026～世界と繋がりを、挑戦と誇りが溢れるまちへ～」について



大塚: 本年度は、70周年の委員会も特別委員会としました。その委員会では「姫路JC未来ビジョン2026～世界と繋がりを、挑戦と誇りが溢れるまちへ～」(以下未来ビジョン2026)を策定していただいております。ひと、まち、組織に加えて、今回は「国際」を新しい軸に設定しました。その上で皆さまには今後の5年間、姫路青年会議所に期待することをさせていただきたいと思っております。

清水: 今後5年間の方向性について、非常に重要なものだと感じています。まずは現役会員の皆さまにしっかりと周知徹底し、理事長が旗振り役になり、方向性を明確に示しながら現役会員をしっかりと導いていただきたいです。また、5年間というスパンの中でそれぞれの年度に役割があると思いますが、特に1年目については「まずここに取り組む」というポイントを明確にし、組織全体で同じ方向を向いて進めていくことが大切だと思います。一つの組織としての指針になると思いますので、それに沿って継続的に運動していただきたいと思っております。

秋本: 今、中長期計画を策定するにあたっては、社会情勢の変化も大きく、1年後、2年後の先行きもみえない中、非常に難しかったのではないかと思います。その状況の中、皆さまが悩みながら検討してきたことは大変意義のあることだと思います。また、姫路のまちにとって姫路青年会議所の存在価値を高めていく観点で考えたとき、大きなポイントとして経済効果をもたらすことが重要だと思います。姫路青年会議所の活動により、地域内に経済効果が生まれていることがみえるようになれば、まちにとっての存在意義もより明確になると思います。

有川: 未来ビジョン2026を拝見し、現在の不透明な国際情勢の中で、姫路青年会議所がどのように状況を捉え、国際事業や国際大会誘致に向けていくことに興味もっています。そのことについては、当事者意識を持って取り組むことが重要だと感じています。次に、姫路青年会議所は挑戦を続けてきた組織であり、様々な取り組みを試し「社会実験の場」として機能していくことが重要だと感じています。最後に、それぞれの活動が自身の仕事にどう繋がるのかを意識することも大切で本業にも生きていくのではないかと感じています。



神畑: 未来ビジョン2026は5年間掲げられるもので、姫路青年会議所にとって重要な指針です。一方で、最近では社会の変化が激しく、当たり前だったことが、数年後には全く違っていることも十分にあり得ると感じます。ビジョンは行動の軸として非常に大切なものではありませんが、変化に応じて、その枠から一歩踏み出すことも、今後は必要な勇気だと思います。現役会員に期待していることは、姫路青年会議所はリーダー育成の場として非常に価値のある団体だと感じています。

様々なことに挑戦できる環境があり、その根底には「まちのために」「ひとのために」という共通意識が、他の組織にはない大きな特徴だと思います。その環境の中で、多くの個性あるリーダーが育ち、「あの人はJC出身だね」と言われる人財が増えることが、未来ビジョン2026で期待しています。

中嶋: 青年会議所活動に感じていることは、時間もお金も使って活動している以上、その運動を最大限活用し、有意義なものにしていくことが大切だと感じています。同じ時間をかけるのであれば、より大きな効果を生み出すべきであり、その中心には「事業」があると思っています。「事業」を通じて、姫路市内や周辺地域にインパクトを与え、影響力をもてるかが重要だと感じています。県外や他地域には有意義な事業を展開している事例も多く、出向などの機会を活用し行政や市民との協働のあり方など、学ぶべき点は多く、そうした外部の知見を組織内に還元し、より質の高い運動に繋がると感じています。

「世界から選ばれるまちひめじ」をJC姫路が行政とどのように共創していくのか



清水: 姫路青年会議所と行政が協働していく上で、行政と対等な立場で連携しながら、取り組んでいくことが重要だと感じます。「世界から選ばれるまちひめじ」を目指して国際化を推進していくのであれば、姫路青年会議所側も一生懸命に学び、知識を身につけた上で、対等に議論し提言できる力をもつことが必要だと思います。単に連携するだけでなく、「さすが姫路青年会議所」と評価されるような存在であり続けるために、対等に議論できる関係性を築いていくことが大切だと感じます。

秋本: 行政との協働の在り方について、相互理解と信頼関係の構築が重要だと感じます。単に仕組みとして協働するのではなく、自分たちの想いをしっかり届けられる関係性を築いていくことが大切だと思います。また、気遣いと気配りを常に意識することで、ひととの関係性が深まり、結果として物事も円滑に進むのではないかと感じます。感情的にならず、相手の立場や考えを尊重し、向き合うことで、良い協働関係が生まれると思います。

有川: 仕事を通じて行政や各種団体と関わる中で、短期的な課題や目の前の施策については議論されている一方で、中長期的な視点や本質的に何を指すべきかは、十分に整理されていないと感じる場面があります。その中で、姫路青年会議所が1年間かけて考え抜いた事業は非常に価値があり、それを単なる実施にとどめるのではなく、まちへの提案として発信することが重要だと思います。また、姫路青年会議所は兵庫県内で唯一の公益社団法人であり、その上で行政とタッグを組み、公益性を軸に連携を深めていくことで、唯一無二の存在としての価値をより強く打ち出せると感じています。

神畑: ASPACや世界会議などの国際事業に参加することは大変で、言語の壁を感じる部分はあるかもしれませんが、ただ、そうした壁も徐々に低くなってきている中で、最後に求められるのは一歩踏み出す勇気だと感じています。どのようなまちづくりやひとづくり、国際事業においても、挑戦する心が非常に重要で、特に国際大会の誘致のような取り組みは、勇気と覚悟が求められると思います。その姿勢をもった組織であり続けてほしいと感じています。

中嶋: 様々な団体が出てきている中で、他団体の知見をうまく取り入れながら、自分たちの強みを伸ばしていくことで、より良い協働ができると思います。特に大切にしたいのは、まちの皆さまや、行政と共にビジョンを創っていくという視点です。姫路青年会議所が主導し、多様な意見を取り入れることで、より実効性が高く、地域の課題を的確に捉えたビジョンが生まれると思います。その上で、行政ができること、市民ができること、そして姫路青年会議所にしかできないことを明確にしながらかつ役割を果たしていくことで、「姫路に青年会議所あり」と言われる存在になるのではないかと感じています。



鼎談



第70代 理事長
大塚 兼史

姫路市長
清元 秀泰

2021年度 JCI会頭
小嶋 隆文

JCI姫路と行政の グローバル社会での共創

JCI姫路と行政が考えるグローバル社会の共有

大塚理事長：我々、姫路青年会議所では、2030年度のASPAC招致を目指し、また姫路市においても第20回世界歴史都市会議の開催など、国際的な取り組みが進んでおります。本日は清元姫路市長にもご出席いただき、行政としての国際戦略についてお話を伺える貴重な機会です。また、2021年度JCI会頭を務められ、日本文化を世界に発信されている小嶋先輩をお迎えし、「グローバル」をテーマに議論を深めてまいります。まずはそれぞれが考えるグローバル社会について、市長からお聞かせください。

清元市長：グローバル社会とは、言語能力にとどまらず、多文化への理解と相互尊重を基盤に成り立つ社会であると考えます。科学技術の進歩により言語の壁は低くなった今、重要なのは自らのアイデンティティを正しく認識し、世界に発信することだと思います。姫路においては、世界遺産姫路城という400年の歴史をもつ価値を活かし、世界にその魅力を伝えていくことが求められると思います。さらに、世界遺産同士の連携を通じて各国の価値観を学び合うことで、国境を越えた理解と尊重の関係を築き、互いを高め合うことこそが真のグローバル化であると考えます。

小嶋氏：AIの進化で、どこにいても同じ情報がすぐ手に入る時代になりました。だからこそ、グローバル化というのは文化を均一にしていくことではなく、それぞれの地域の価値をしっかりと磨いて、引き立てていくことじゃないかなと思うんです。すべての問題を解決しようとするのではなく、自分たちが関われるところにしっかり向き合っ、その価値を高めていく。その積み重ねが、結果的に世界にも繋がっていく。それも一つのグローバル化の形じゃないかなと感じています。

今後、どのように 世界から選ばれるまち姫路を創っていくか

大塚理事長：今後、世界から選ばれるまち姫路をどのように実現していくのかについてお伺いします。世界歴史都市会議やASPACを一過性で終わらせるのではなく、継続的な取り組みへと発展させていくことが重要です。そのために、姫路青年会議所と行政が同じビジョンをもち、どのように連携していくべきか、まずは清元市長からお聞かせください。

清元市長：「世界から選ばれるまち」というのは抽象的に聞こえますが、背景には人口減少という強い危機感があります。先人たちが築いてきた価値を守りながら、今を生きる私たちが取り組まなければ、まちの持続は難しくなります。姫路は、姫路城をはじめとした歴史や文化、安心安全なまちの魅力の世界に発信していくことが重要です。そして将来に向けては、外国人とも日本の価値観を理解しあい、特に若い世代が学びやすい環境を整えていくことが、持続可能なまちづくりに繋がると考えています。また、姫路は、6つの都市との姉妹・友好都市提携や、世界歴史都市会議を通じて国際的な連携を深めています。こうした取り組みにより、文化財を守りながら課題解決を図るとともに、姫路の付加価値の高いまちとしての魅力を世界に発信していきたいと考えています。



大塚理事長：世界歴史都市会議が2年に1回開催される中で、第20回大会が姫路で開催されることを大変誇りに感じています。招致には多くのご苦労があったと伺っていますが、いかがでしたか。

清元市長：非常に大変でした。2年前にスロベニアのリュブリャナで開催された会議で、理事国の投票によって決まるのですが、忍者の格好をしてプレゼンを行い、姫路の武家文化や城下町の魅力を伝えました。「ラスト・サムライ」の舞台にもなった背景を活かし、中世から江戸時代にかけての文化を知ってもらいたかったのです。ただ、手裏剣を持って行ったことで空港で没収されるトラブルもありました(笑)。結果的には「ノーウェポンの忍者」でしたが、それも含めて印象に残り、無事に票を得て姫路開催が決まりました。

大塚理事長：非常にユニークで苦労と工夫の積み重ねでの招致だったんですね。小嶋先輩はJCI会頭としての国際的なご経験をおもちですが、ASPACの招致も見据え、大会開催における行政との連携や関わり方についてご教示いただきたいと思っています。

小嶋氏：大阪では2010年に世界会議を招致しましたが、私は在籍期間中にその経験は無く、世界会頭としての活動も個人としての側面が大きかったです。しかし、当時を経験した先輩方は「大変だったが一番の思い出」と語っており、国際大会の価値とインパクトの大きさを実感しています。実際、招致にはメンバーが世界中を回ってPRするなど大きな労力が伴います。新潟のASPACも2014年の決議から約12年をかけて開催に至っており、行政も海外でのPRに関わるなど強い連携が不可欠です。2030年に向けた挑戦は容易ではありませんが、段階的な承認を経て世界に発信していく長い道のりであり、行政との連携を深めながら進めていくことが重要だと感じています。

世界から選ばれるまち姫路の強み

姫路の何を世界化するのか

清元市長：姫路城を世界に発信するといっても、まずその背景をしっかりと理解してもらうことが大事だと思うんです。池田輝政が築いたお城であり、その前は豊臣秀吉が天下統一の拠点とした、日本史の中でも非常に重要な場所なんですよね。なぜ姫路城だけが世界遺産なのかという「真正性」を保っているからです。木造で400年続いているのは、瓦師や宮大工など多くの職人の技術と営みがあってこそで、だからこそ入場制限を設けて守っているんです。こういった背景は、意外と市民にも知られていないんです。そして、こうした伝統を守るためにはひとつづくりが欠かせません。神社の運営のように技術を継承していく仕組みと同じで、姫路青年会議所が大切にしている人財育成とも通じるものがあります。これからは語学や文化、芸術の分野で世界に通用する人財を育てて、姫路から世界へ価値を発信していくことが重要だと思っています。

大塚理事長：ありがとうございます。姫路城以外にも市長として発信していくものは何かありますか。

清元市長：食文化も含めて、農林水産業にはもっと力を入れていきたいと考えています。資源を枯渇させないためには持続可能な取り組みが必要で、姫路ではアサリの完全養殖や潮干狩り文化の復活にも取り組んでいます。こうした一次産業を通じて、命の大切さを育むことが重要です。また、姫路城は脱炭素の象徴でもあり、木造建築として資源循環の考え方を体現しています。CLTなど新しい技術も活用しながら、森林と海の繋がりを意識した持続可能なまちづくりが求められます。さらに、離島や浜といった地域資源を大切にすることで、姫路城だけでなく多面的な文化を世界に発信していきたいと考えています。



大塚理事長：本年度、日本青年会議所ではカーボンニュートラルの推進に取り組んでおりますので、その点にもご期待いただければと思います。そのうえで、小嶋先輩には先ほどの市長のお話も踏まえ、青年会議所として行政とどのように関わっているのか、これまでのご経験からお聞かせいただければと思います。

小嶋氏：勝尾寺は訪日外国人の行きたい寺社ランキングで10位に入り、清水寺や浅草寺と並ぶ存在となりましたが、長年、駐車場不足による渋滞が課題でした。満車になると最大7.6km、入庫まで4時間半かかる状況が続いていましたが、インドネシア・ポロブドゥールの完全予約制による成功事例を参考に、駐車場の予約制を導入したことで渋滞は解消され、結果として価値向上にも繋がりました。また、バスの本数も大幅に増え、受け入れ体制も強化されました。この経験を踏まえると、姫路城においても単なる観光地ではなく、400年続く伝統技術や文化を学べる場として発信することが重要です。青年会議所が中心となり、国際的な技術者を招きながら「姫路モデル」を構築し、歴史・伝統・技術の継承を世界に示していくことが、今後の価値創出に繋がると考えます。

姫路城を利用した世界への発信方法

大塚理事長：姫路はブランディングの面でまだ課題があると感じており、特にお土産などで印象に残るコンテンツが弱いのではないかと考えています。一方で、小嶋先輩は達磨というコンテンツを活用し、世界に向けて強く発信されています。そこで、達磨を用いたブランディングにおいてどのような点に力を入れてこられたのか、またインバウンド増加のきっかけとなった取り組みや、姫路に対して参考となるアドバイスがあればお聞かせいただきたいと思います。

小嶋氏：ブランディングの本質は「ストーリー」にあると考えています。達磨はどこでも購入できますが、勝尾寺では「ここで体験しなければ意味がない」という作法や背景を設けることで、物ではなく「体験」そのものを目的にひとが訪れる仕組みをつくっています。来訪者がどう感じるかを重視し、その体験価値を高める空間づくりに力を入れています。また、あえて近代化を急がず、20年単位で価値を磨き続けることで「未完成の魅力」を保ち、長期的なブランドを形成しています。サグラダ・ファミリアが素晴らしいのは完成させないことにロマンがあるんですね。また、歴史資料のデジタルアーカイブ化により研究者を呼び込み、新たな価値発見にも繋がっています。こうした継続的な取り組みとひとの集まりが、ブランドを強く続ける要因となります。姫路においても、ひとが集まり続ける「接点」をつくり、姫路独自の価値を発信していくことで、世界に通用するブランドへと成長していくと考えます。

清元市長：姫路城に関しては、障がい者の方からエレベーターの要望もありますが、ユニバーサルツーリズムの観点には大事にしています。例えば、高齢の方が安全に登れるようにリュックを無料配布して両手を空ける工夫をしていますし、コロナ禍で取得したVR映像を活用して、車椅子の方でもお城を体験できる仕組みも考えています。また、姫路には神戸ビーフの輸出拠点や、有名ブランドも注目する白なめし革など、世界に誇れる資源があります。こうした歴史的背景のある素材を活かして、土産物として発信していくことも大切だと思っています。命をいただき、余すことなく使うという「もったいない」の精神も含めて、若い世代にしっかり伝えていきたいですね。小嶋氏：それはやっぱり、トップブランドに使ってもらうように仕掛けていくことが重要だと思うんです。そうすることで「姫路レザー」という名前自体が世界に通用するブランドになっていく。そう考えるとすごく夢がありますよね。もともとコンテンツがあるというのは本当に強みで、それをどう見せていくか次第で、いくらでも価値を高めていけると思います。

国際交流を点で終わらせない 仕組みづくり

国際交流の機会の創出方法

清元市長：今年も国際的な動きがさらに加速しています。昨年万博を契機にオーストリアやチェコの姉妹城締結を行いました。今年も台湾との交流が大きく進んでいます。先日台北を訪問し、国立政治大学との人材交流や、商工会議所同士の連携もスタートしました。また台北市との協定締結により、9月には姫路で台湾夜市の開催も予定しています。そして価値観の近い地域と連携しながら、ひと・物・金が動く関係づくりを進めていきたいと考えています。

大塚理事長：ASPACは新潟が今年で、来年が台湾です。そのような繋がりがあります。我々は2030年に取りに行こうとしています。

小嶋氏：国際大会の招致は、開催そのものが目的ではなく、「何を誰にどう伝えるのか」という明確な意図がなければ、単なるイベントで終わってしまいます。また、大きな努力を伴うため、燃え尽きや組織の疲弊が起こるリスクもあります。そのため、2030年に固執するのではなく、継続的に挑戦し続ける姿勢が重要です。招致の過程自体が、行政との関係構築や地域連携を深める大きな機会となるため、長期的な視点で取り組むべきであり、ぜひ挑戦してほしいと考えています。



清元市長：頑張っていたきたいですね。大事なものは、想いをしっかり次の世代に繋いでいくことだと思うんですね。姫路城もいろんな方々が関わって守ってきたからこその今があるように、メンバーが入れ替わっても「やり続ける」という意志をもち続けることが重要だと思います。行政についても、市長だけでなく職員の方々にまでその想いを共有していくことで、初めて実現に近づいていくんじゃないでしょうか。新潟や大阪万博のように、多くのひとや団体を巻き込んで一牧若で取り組むことが大切ですし、他と競うというよりも、姫路の文化や価値を世界に発信したいという思いを進めていくことが大事だと思います。

国際交流をまち全体で行うための課題

小嶋氏：入山料の話でいうと、今インバウンドが平日で9割、年間100万人を超えていて、今年は180万人くらいの勢いなんです。そのうち8割が外国の方です。本来ならダブルプライスも考えるところなんです。宗教法人なので入山料はお布施の前受けという扱いになり、税法上も外国人と日本人で分けることができないんです。500円は安すぎるという声もありますが、信仰の前では分けられないという判断をしています。こういう前提に立つと、まち全体としてどう収益や価値をつくっていくかが課題になります。また、混雑対策としては、ひとを並ばせることへの負担を考えて予約制を導入して、「予約のない方は入れません」とシンプルに運用しています。これからは、こうした仕組みをエリア全体でどう整えていくのか、そして観光と信仰・文化をどう両立していくのか、まちとしての大きなテーマになってくると思います。



※CLTとは Cross Laminated Timber(クロス・ラミネイティド・ティンバー)の略で、日本語では直交集成材といわれます。鉄骨やコンクリートに代わる可能性をもつ、新しい大型木質建材です。

清元市長：今のお話を踏まえ、姫路城では3月から時間指定の予約制と料金改定を行いました。事前に入場予約をして来られる方はスムーズに観覧でき、予約のない方も現地で空き時間を確認し、その間を商店街で過ごすことで、結果的に滞在時間の延長や地域消費の促進に繋がっています。また、18歳未満は世界共通で無料とし、人類共通の文化財を守るという観点を重視しています。一方で姫路市民を1,000円としたのは、天守閣だけでなく外堀や周辺環境も含めてお城であり、それらを支える市民の負担や貢献を考慮したものです。海外に目を向けると、ミラノの「最後の晚餐」は完全予約制で人数制限も厳しく、宗教や属性によって価格も異なるなど、文化財を守るための仕組みが徹底されています。それに比べると、日本ではこうした背景や目的が十分に伝わらず、料金だけが切り取られて議論されがちです。だからこそ、なぜこの料金なのか、何を守るための仕組みなのかという本質を、若い世代やJCI会員の発信力で伝えていくことが重要だと考えています。姫路城の価値とその背景を正しく理解してもらうことが、今後の持続可能な運営に繋がるとは思いませんか。

姫路のグローバル人材を 増加させるためにできること

小嶋氏：例えばギルド制度のような考え方があると思うのですが、それを姫路城に当てはめて考えると非常に面白いと思います。姫路城は大坂城と違い、エレベーターやエスカレーターを設置せず、1609年の姿を守りながら、約400年にわたって受け継がれてきました。そこには手作業による技術や、日本文化・建築の粋が凝縮されています。こうした技術を集約し、例えば専門的に学べる工業高校のような場をつくることで、「姫路モデル」あるいは「姫路スタイル」といった形で発信できるのではないのでしょうか。実際、寺社仏閣の修繕を担う職人は不足しており、喫緊の課題となっています。左官や瓦、宮大工といった分野に特化した人財育成の仕組みが求められています。また、青年会議所が中心となり、海外の技術者、例えば先手の器用なベトナムの方々なども巻き込みながら、国際的な人財育成を進めていくことも一つの可能性です。姫路城というアイコンを起点に、歴史・伝統工芸・技術を総合的に発信していく。その結果として、「姫路」という名前自体が、伝統技術の象徴として世界に認知されるようなブランドになれば、それが真のグローバル人財育成に繋がるのではないかと考えます。

清元市長：リビンヒストリー事業として、当時の着物や調度品を用い、大名行列の再現などを行っています。姫路城内には、かつて出島のような作事場が存在していましたが、戦後に埋め立てられ動物園が整備されました。現在はその移転を進め、2〜3年後には発掘調査を行い、作事場を復元し、職人の技術を実演できる場として整備する構想です。また、入城料金が18歳未満を無料としているのは、こうした現場に実際に足を運び、カンナ削りや白漆喰の技術などに触れて興味をもってもらうためです。さらに、工業高校や新設校に日本の歴史や技術を学ぶコースを設け、職業としての技能を育成していくことも視野に入れています。次の100年に向けて、伝統を守るためにはひとつづくりが不可欠であり、継続的な技術継承を支えていくことが重要だと考えています。

大塚理事長：本日は貴重な機会をいただきましてありがとうございました。

姫路JC未来ビジョン2026

世界と繋がり、挑戦と誇りが溢れるまちへ

はじめに

姫路青年会議所は1956年の創立以来、地域と共に歩み、2026年に70周年を迎えます。社会が大きく変化する今、伝統を礎に新たな価値と挑戦を取り入れ、持続可能で魅力ある地域を目指します。その指針として、2026～2030年の5ヶ年計画「姫路JC未来ビジョン～世界と繋がり、挑戦と誇りが溢れるまちへ～」を策定し、「ひと・まち・組織・国際」の4本柱で未来を切り拓きます。

組織

多様な価値観を尊重しながら、互いに高め合い、挑戦を後押しできる仲間づくりを進めます。強い信頼と誇りある絆で結ばれた組織を築き、次代へと続く持続可能なJC運動を展開します。

国際

国際的な視野を基盤に、国際大会を見据えた体制づくりやネットワークを活かして姫路の魅力を発信し、世界に開かれたまちを創造します。交流を通じて地域の可能性を広げ、姫路の価値を世界へ届けます。

ひと

地域を牽引するリーダーの育成をはじめ、青少年の主体性を伸ばす機会の創出、国際感覚を備えたグローバル人財の輩出、そして次世代リーダーの育成を通じて、変化の時代に挑み続ける人財を育てます。

まち

持続可能なまちの実現を軸に、姫路ブランドの確立と自立した経済基盤の創出、安心と調和を未来へ繋ぐ基盤整備、多様性を尊重する共生社会の推進を通じて、誇りをもって次世代へ引き継げる姫路を築きます。

ひと / Human

挑戦する心が育む、
誇り高き人財へ

次代を担う青少年の育成

青少年が主体的に学び、地域への誇りや挑戦する意欲を育める体験や機会を提供します。多様な活動を通じて、自ら考え行動できる力を養い、未来の地域を支える人財として成長を促してまいります。

次世代リーダーの育成

急速に変化する社会において、未来を切り拓くのは新しい感性と柔軟な発想をもつ次世代の力です。多様な価値観を受け入れ、分野を超えて協働し、地域の課題に果敢に挑むリーダーを育成することで、姫路の未来を担う人財の裾野を広げてまいります。

地域を牽引するリーダーの育成

地域に根ざした視点と広い視野を併せもち、課題に挑戦し行動できる人財を育成します。共感力と責任感を養い、地域社会と経済の発展に貢献できるリーダーの成長を促進してまいります。

グローバル人財の育成

国際社会との繋がりを通じて視野を広げ、異なる価値観を学び取ることで、世界に通用するグローバル人財を育成します。姫路から世界へ羽ばたく挑戦者を輩出してまいります。

まち / Town

挑戦が息づき、
誇りが輝く姫路のまち



姫路ブランドの確立と 自立した経済基盤の創出

地域資源を磨き上げ、誇りをもって語れる
姫路のブランドを確立するとともに、地域
企業の挑戦を後押しし、新しい産業や雇用
を生み出すことで、循環と自立を兼ね備え
た経済基盤を築いていきます。



多様性を尊重する共生社会

年齢・性別・文化の枠を超え、多様な価値
観が響き合うまちをつくり、挑戦が重なり
合う豊かな社会を目指します。



持続可能なまちの実現

未来世代に誇れる姫路を残すために、
自然・環境・文化を調和させ、持続可能な
社会を築いてまいります。



未来へ受け継ぐ安心と 調和のまちづくり

自然との調和を大切にしながら、あらゆる
災いにも揺るがない基盤を築き、人々が
安心して暮らし続けられるまちを未来へ
繋げていきます。



組織 / Organization

挑戦する仲間と
誇りある絆の組織



次代を担うメンバーの育成

次世代を担う成長期のメンバーが、JCの
理念や行動力を身につけられる環境を
整えます。また、委員会活動や役職への挑戦
を通じて実践力と責任感を深め、将来は地域
と組織の双方を牽引する人財へと成長する
道筋を築いてまいります。



出向者の支援と成長の共有

出向の経験は個人の成長にとどまらず、
組織全体の財産となります。現役会員を
支え、その学びを全体に還元していきます。



会員拡大による組織の活性化

新たな仲間を迎え入れることで、多様な視点
とエネルギーが加わり、挑戦を絶やさない
組織へと成長します。



多角的な広報活動の展開

単なる情報発信にとどまらず、SNSや
メディアを活用した多角的な広報を展開
し、JCの運動を社会全体に届けます。



国際 / International

挑戦を恐れず、
誇りを胸に世界と歩む



国際的な視野の拡大

広い世界に目を向け、多様な価値観を
学び取り、地域の可能性を押し広げる
力を養います。

国際大会を見据えた体制づくり

組織の力と国際的な視野を磨き、国際
大会にふさわしい基盤を整えることで、
姫路の存在感を世界に広げていきます。



国際ネットワークの活用

築き上げた国際的な繋がりを活用し、
経済・文化・人財交流を推進し、姫路を
世界に開かれたまちへと導きます。



魅力の発信

姫路城をはじめとする地域の魅力を世界
に届け、観光や経済、文化交流の発展へと
繋がります。



編 集 後 記

公益社団法人姫路青年会議所は、本年で創立70周年という大きな節目を迎えました。創立65周年からの5年間を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症による社会の変化をはじめ、デジタル技術の急速な進展、国際情勢の変化、物価高騰や地域経済への影響など、私たちを取り巻く環境は大きく移り変わってまいりました。また、ひととひととの繋がりや地域との関わり方も変化し、青年会議所運動に求められる役割も、時代と共に新たな局面を迎えています。

そのような時代の中で迎えた創立70周年にあたり、私たちは記念誌のテーマを「姫路と世界を繋ぐ、心踊る挑戦」とし、「創立70周年記念誌」を発行させていただきました。今回の記念誌では、公益社団法人姫路青年会議所が歩んできた70年の歴史を振り返るとともに、座談会を企画しました。未来ビジョン2021の振り返りと未来ビジョン2026への期待や思いなど、今後の青年会議所運動のあるべき姿を語り合っていました。

また、姫路市長 清元秀泰様、2021年度JCI会頭 小嶋隆文先輩、大塚理事長の3名による鼎談を開催しました。4つのテーマを設け、今後の姫路や青年会議所のあり方などを様々な角度からお話いただきました。さらには公益社団法人姫路青年会議所の中長期計画である「姫路JC未来ビジョン2026～世界と繋がり、挑戦と誇りが溢れるまちへ～」を掲載し、私たち現役会員が考える姫路青年会議所の今後の方向性を示させていただきました。

この記念誌を通じて、現役会員はもちろん、これから姫路青年会議所に入会するであろう方々にも、私たちの運動の意義や、地域と共に歩んできた歴史を感じていただきたいと考えております。そして、これまで受け継がれてきた想いや伝統を胸に、私たち自身が未来を切り拓く当事者として、姫路のまちに新たな価値と笑顔を生み出していききっかけとなれば幸いです。

結びとなりますが、本記念誌の作成にあたり、ご協力いただきました皆さまに心より感謝を申し上げます。創立70周年を新たな出発点とし、公益社団法人姫路青年会議所は、これからも明るい豊かな社会の実現に向けて、運動の輪を未来へと紡いでまいります。

編 集 JCI運動発信委員会

高石 浩平	井内 亮太	三木 敦貴	赤鹿 佳範
金海 魁誠	辰巳 友亮	伊賀 義高	上野 恵史
岡本 祥吾	久保田 小雪	本林 克規	寺尾 一馬
林 太貴			

JCI Himeji Junior Chamber International Himeji
公益社団法人 姫路青年会議所

公式HP・各SNSはこちら

Homepage
 Instagram
 Facebook
 X(旧Twitter)
 TikTok
 YouTube

